

# グループホーム ひなたの家

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の「永年に亘り社会の進展に寄与してきた人生の先輩である」にあるように、入所者様一人一人を尊重し、個性を活かし生活出来るように支援している。	今後も、引き続き理念を基本とした利用者の為のサービス提供に取り組んでいきたい。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は玄関ロビーに掲げ、毎朝の申し送り時に全員で復唱している。目配り、気配り、心配りを大切に楽しく過ごして頂けるように支援している。	今後も、引き続き理念を基本とした利用者の為のサービス提供に取り組んでいきたい。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	利用者の家族の来所時や散歩等時での地域の方に、利用者がその人らしい生活を楽しんでおられる表情や様子、話し、又近況の報告等により理念の理解を得ている。	地域との交流に働きかけ、より多くの方に事業所の理念が浸透していくよう取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	外出時のすれ違いには、挨拶をしたり、立ち寄って頂いたりしている。	引き続き、取り組んでいきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の活動(ミニディサービス、文化祭、祭り)に参加。	引き続き、取り組んでいきたい。

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	事業所や職員にまだそこまで影響を与えるような力がない為、取り組みはしていない。		今後、取り組んで生きたい。
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価と第三者評価の実施の意義を理解しており、評価後の指摘された事業所の改善点を直すように取り組んでいる。		よりよい事業所を目指していく為、改善点を直すように取り組んでいきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回の運営推進会議では、利用者の現況、提供サービス、行事等の取り組み内容や課題を報告、話し合いを行い、アドバイスや意見等を利用者のサービス向上に役立てている。		引き続き、取り組んでいきたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業者は、利用者の事務手続き関係において行き来する機会があり、市町村とともに提供サービスの質の向上に努めている。		引き続き、取り組んでいきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	新聞やニュース等のメディアよりそれらを学ぶ機会を得ている。個々の必要性があれば関係者との話し合いを行い、必要な利用者には活用できるように取り組んでいく。		引き続き、取り組んでいきたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所で使用している業務日誌に、高齢者虐待防止関連法についての資料を添付して、目を通しやすくしている。高齢者虐待は絶対あってはならない事と考えており、見過ごされないように注意を払っている。		引き続き、注意を払っていききたい。

## グループホーム ひなたの家

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約、解約時は、予め利用者や家族等の不安・疑問点を利用者側より伺わせて頂き、又事業者側より不安・疑問点を尋ねさせて頂き、利用者や家族等に納得を得られるように十分な説明を行なっている。</p>	<p>引き続き、取り組んでいきたい。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者との個別ケアにて意見、不満、苦情を管理者や職員に直接言って来られるか、家族等に代弁してもらうような支援の状況をつくり、意見、不満、苦情を事業所の課題として考え、解決していく事で運営に反映させている。</p>	<p>引き続き、取り組んでいきたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回、ひなただよりによる近況報告、利用料の支払い時に体調面、金銭状況、暮らしぶりについて、家族等に報告、説明している。但し、職員の異動については、尋ねられた時に報告している。</p>	<p>引き続き、家族等により分かりやすく報告できるように取り組んでいきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>事業所の玄関に御意見箱を設置しているが、家族等が直接言って来られる方が多い為、直接伺う事により、意見、不満、苦情を事業所の問題として捉え、解決していく事で運営に反映させている。</p>	<p>引き続き、取り組んでいきたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>運営者や管理者は、出来る範囲内で運営に関する職員の意見や提案を聞いており、運営に反映させている。</p>	<p>引き続き、取り組んでいきたい。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者や家族の状況変化、要望に対応できるよう、必要な時間帯に職員を確保し、勤務を調整している。</p>	<p>引き続き、取り組んでいきたい。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は利用者が馴染みの職員による支援を受けられるように職員の離職を必要最低限に抑え、代わる場合については、利用者への負担を最小限度に抑えるように配慮している。</p>	<p>引き続き、取り組んでいきたい。</p>

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては採用対象は出来るだけ広く持っている。事業所の職員についても、能力を發揮して気持ちよく働いてもらい、自己実現の権利が十分保証されるよう配慮している。</p>		引き続き、取り組んでいきたい。
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>利用者に対する人権を尊重する事は、職員等に既に浸透している為、特に教育、啓発活動に取り組んでいない。</p>		今後、取り組んでいきたい。
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、今現在管理者や職員の育成の為の計画は立てておらず、研修の機会も確保されていない。</p>		今後、取り組んでいきたい。
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>月1回の地域でのグループホーム協議会で交流の機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会を通して、提供サービスの質の向上に努めている。</p>		引き続き、取り組んでいきたい。
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>以前より、休憩時間を設けて、気持ちの切り替えを図っている。又年に数回、親睦会を行い、ストレス軽減に努めている。</p>		引き続き、取り組んでいきたい。

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は、職員個々の努力や実績、勤務状況について把握し、その状況に応じて、皆勤手当や残業手当、賞与で反映させている。		引き続き、取り組んでいきたい。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人とのコミュニケーションが大事なことであり、少しずつ信頼関係を構築していく事で困っている事、不安な事、求めている事を伺い、出来るだけ本人に負担のないように本意を尊重しながら努めている。		引き続き、取り組んでいきたい。
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族とのコミュニケーションが大事なことであり、少しずつ信頼関係を構築していく事で困っている事、不安な事、求めている事を伺い、出来るだけ本人に負担のないように本意を尊重しながら努めている。		引き続き、取り組んでいきたい。
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に本人と家族が必要としている支援を把握し、他サービス利用も視野に入れて対応と説明に努めている。		引き続き、取り組んでいきたい。
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して利用する為にまず見学で雰囲気を感じて頂いている。入所されてからは、職員、他利用者、場の雰囲気に徐々に慣れて頂くように、本人と家族等とのコミュニケーションを図り生活暦等や習慣について何うように努めている。		引き続き、取り組んでいきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人と一緒に過ごす人生の先輩として尊重し喜怒哀楽を共にし、本人より勉強させて頂いたり、本人とのコミュニケーションにより、相互関係を構築している。		引き続き、取り組んでいきたい。

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は、家族を第二の本人として尊敬し、喜怒哀楽を共にし、家族とのコミュニケーションにより、一緒に本人を支えていく相互関係を構築している。		引き続き、取り組んでいきたい。
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人は勿論、家族とのコミュニケーションを図り、家族関係の把握に努め理解し、本人と家族がよりよい親子関係を構築できるよう支援している。		引き続き、取り組んでいきたい。
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの人については、面会や電話連絡できるように努め、馴染みの場所については、自宅に帰宅されたり、時々その場所と同行して懐かしんで頂けるように勤めている。		引き続き、取り組んでいきたい。
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者一人一人を把握し、利用者同士共通の趣味等を探し一人一人が孤独にならないように利用者同士の関わり合いを促し支え合えるように努めている。例えば、食器洗い後の食器拭きをして頂いている。		引き続き、取り組んでいきたい。
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了しても、利用者や家族に対しては、サービス利用中にお世話になった事にお礼を申し、その後の生活ぶり等を伺い付き合いを大切にしている。		引き続き、取り組んでいきたい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人に対し、コミュニケーションを図り、本人の思いや意向、希望した暮らし方の把握に努めている。出来るだけ本人本意の意向に沿った生活をして頂いている。		引き続き、取り組んでいきたい。

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居以前より利用者の情報にて、これまでの生活歴、生活環境、暮らし方、サービス利用の経過等の把握に努め、入居後も利用者や家族とのコミュニケーションにより把握に努めている。		引き続き、取り組んでいきたい。
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の状態を詳細に記録し、申し送りで伝えている。月に1度は必ず会議を行い、現状を共有している。		引き続き、取り組んでいきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人に傾聴と共に家族からの意見等の情報収集、主治医からの意見を反映し作成している。		引き続き、取り組んでいきたい。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月の見直しと共に状態の変化があった時は、本人、家族、主治医、職員等から意見を収集し作成している。		引き続き、取り組んでいきたい。
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を詳細に記入している為、実践や計画に役立てている。		引き続き、取り組んでいきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所として出来る範囲内での柔軟な支援に努めている。(リハビリや帰宅の送迎、事務手続き等)		引き続き、取り組んでいきたい。

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向、希望、必要性に応じ、市町村等に問い合わせ、協力しながら支援している。(行事等)		今後は、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と取り組んでいきたい。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向、希望、必要性に応じて、地域の常会やサービス事業者と話し合い、他のサービス利用の支援している。		引き続き、取り組んでいきたい。
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や希望、必要性に応じて、権利擁護、成年後見制度、長期的なケアマネジメント等について事業所内で対応している。対応出来ない場合については、地域包括支援センターと協働していく。		対応出来ない場合は、地域包括支援センターと協働して取り組んでいきたい。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の同意により、事業所として訪問診療を採用しており、診療医と事業所の関係を構築し、適切な医療が受けられるように支援している。		引き続き、取り組んでいきたい。
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医等認知症に詳しい医師に相談し、認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。		引き続き、取り組んでいきたい。
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	非常勤の看護師による定期的な健康管理をしている24時間、迅速に相談、助言できる体制をとっている。		引き続き、取り組んでいきたい。



## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>利用者の入院時、安心して頂けるよう、早期退院できるよう病院の医師、看護師とこまめに情報交換、相談に努めている。</p>		<p>引き続き、取り組んでいきたい。</p>
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合、終末期について、出来るだけ早い段階より本人、家族、医師等と協議し、本人、家族の意向に沿った方針を共有している。</p>		<p>引き続き、取り組んでいきたい。</p>
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>重度、終末期の利用者が日々をより良く暮らせる為、事業所として出来る事、出来ない事を協議し、医師と共に支援に取り組んでいる。今後の変化に備えて検討、準備に努めている。</p>		<p>引き続き、取り組んでいきたい。</p>
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関係するスタッフ間での十分な話し合い、情報交換をこまめに行い、住み替えるによる戸惑い、混乱を出来得る限り防ぐ事に努めている。</p>		<p>引き続き、取り組んでいきたい。</p>
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者一人一人を尊重しており、誇りやプライバシーを傷つけるような声掛けや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。</p>		<p>引き続き、取り組んでいきたい。</p>

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	本人の思いや希望を表せるように、こまめにコミュニケーションを図り、一人一人に応じた説明を行い、出来るだけ自分で納得して決めて暮らしていけるように支援している。		引き続き、取り組んでいきたい。
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	特に決まりごとは無く、1日好きな事をゆっくり自由にして頂いている為、それに沿って支援している。		引き続き、取り組んでいきたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者や御家族と相談し、理容院や美容院を決めている。訪問カットも確保し、依頼時には直ぐに対応して頂くようにしている。		引き続き、取り組んでいきたい。
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しんで食事の準備、片付けを出来る方には、少しでも参加して頂いている。参加が難しい方には、キッチンからの音や匂いにて参加が出来ている。		引き続き、取り組んでいきたい。
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等は、事務所で預からせて頂き、一人一人の状態に応じ、希望すれば楽しめるように支援している。		引き続き、取り組んでいきたい。
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	チェック表で排泄のパターンを把握している。それに応じて、声掛けやトイレ誘導を行なっている。		引き続き、取り組んでいきたい。

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	共同スペースにて入浴予定の利用者様の名前を分かりやすいように掲示している。その日の体調等にも十分配慮を行い、安全に入浴出来るように支援している。		運営上、現状維持して取り組んでいきたい。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の生活パターン、その時々体調に応じ、安心して気持ちよく休まれるように支援している。共同スペースにはソファ、畳があり、自由に休息できる場所がある。		引き続き、取り組んでいきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個別の時間や個別の外出等にて楽しみや気晴らしを行なっている。		引き続き、取り組んでいきたい。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	多額の金額は事務所で預り、少額であれば持っている方もおられる。		引き続き、取り組んでいきたい。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候にもよるが、散歩は日常的に行っている。買い物にも参加して頂いている。		引き続き、取り組んでいきたい。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	両ユニットでの外出、外食、家族との外出や外泊、職員と希望の場所への外出する機会を作っている。		引き続き、取り組んでいきたい。

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来得る限り、家族や大切な人に本人が電話連絡して頂いたり、又手紙でのやり取りが出来るよう支援している。		引き続き、取り組んでいきたい。
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会日時の制限も無く、自由に訪問して頂いている。お茶やお菓子等もゆっくり自由に楽しんで頂いている。		引き続き、取り組んでいきたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを行っている。動作に特に注意の必要な利用者には離床センサーを設置している。		引き続き、取り組んでいきたい。
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には施錠をしない。出入り口はセンサーにて対応している。		引き続き、取り組んでいきたい。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフは本人のプライバシーに配慮し、昼夜、巡視、見守りを徹底し、様子の把握と安全に配慮している。		引き続き、取り組んでいきたい。
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品を本人が持つ事は基本的に禁止しており、居室に置かないようにしている。使用する場合は、一人一人の力に応じて、見守りを行っている。		引き続き、取り組んでいきたい。
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書、ヒヤリハットの書類を使い事前に事故防止に努めている。事故対策委員と管理による事故対策会議も行なっている。		引き続き、取り組んでいきたい。

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	利用者の急変や事故発生時について、まず看護師に連絡し、状況と状態報告して指示を仰いでいる。看護師の連絡どころではない場合には、救急車を呼ぶようにしている。		引き続き、取り組んでいきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時に利用者が御自分で避難出来る方法は避難経路図を見て避難するくらいでしか身につけていない為、声掛けにより、誘導を速やかに行う。地域の人々の協力を得られるように少しずつではあるが、働きかけている。		引き続き、取り組んでいきたい。
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	一人一人の状態より、起こり得るリスクについて、家族等に説明し、出来るだけ拘束のない暮らしを大切にしたい対応を話し合っている。		引き続き、取り組んでいきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人一人の体調の細かい変化や異変を見逃さずに努め、気付いた際には速やかに看護師、主治医とその日のスタッフに報告、看護師に指示を仰ぎ対応している。		引き続き、取り組んでいきたい。
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の既往歴を把握し、使用している薬の目的、用法や用量については理解している。副作用については、完全には理解していない。確実な服薬と症状の変化の確認を常時観察している。		今後は、薬の副作用についても理解するように取り組んでいきたい。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	スタッフは、一人一人の排便について確認し、排便のない方に対し、便秘の原因、及ぼす影響を理解し、予防の為、水分を多く摂って頂いたり、出来るだけ食事は繊維質を多く含む材料を使用したり、又散歩や体操等、声掛けして出来るだけ身体を動かして頂くように働きかけている。		引き続き、取り組んでいきたい。

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	週に1度の訪問歯科の実施と食後の口腔ケアをして頂いている。		今後は、毎食後の口腔ケアに取り組んでいきたい。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材業者の栄養士の献立によりバランスの取れた食事を提供し、チェック表にて食事量や水分量をチェックしている。		引き続き、取り組んでいきたい。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染対策マニュアルにより、予防や対応に取り組んでいる。		引き続き、取り組んでいきたい。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防の為、台所は清潔にし、調理用具等はこまめに洗って、保管しておき、食材は新鮮で安全であるか確認して使用している。		引き続き、取り組んでいきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りできるように玄関には下駄箱に花瓶の花を置き、ソファやテーブルを設置、壁には利用者の作品、額縁のジグソーパズルを飾り、建物周囲には花壇に花を植えたり、畑には野菜を植えたりと工夫している。		工夫の余地があれば、取り組んでいきたい。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は利用者に快く使って頂く為、きれいにしておき、食事の香りや利用者同士の会話等で生活感を取り入れ、共同スペースからの風景や共同スペースに貼ってあるカレンダーや貼り絵により季節感を取り入れ、居心地よく過ごして頂けるように工夫している。		工夫の余地があれば、取り組んでいきたい。

## グループホーム ひなたの家

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間では、玄関や廊下にソファ、椅子を設置し、思い思いにくつろいで頂いたり、居間においては、利用者同士で会話を楽しんでいただけるような配置にしている。		工夫の余地があれば、取り組んでいきたい。
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、出来るだけ本人や家族の意向に沿ったレイアウトにしており、使い慣れた物や家族の写真、本人の好きな物を置いて頂いたりして、本人が居心地よく過ごせるようにしている。		工夫の余地があれば、取り組んでいきたい。
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気になる臭いや空気のおよみがないよう換気を促し、季節や利用者の体調に応じて温度調節をこまめにしている。		引き続き、取り組んでいきたい。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は手すりを設置、床も滑らないようなフローリングにし、又段差がないようにバリアフリーにして安全で出来るだけ自立した生活を送れるようにしている。		工夫の余地があれば、取り組んでいきたい。
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人のわかる力に応じ、利用者本人のいる場所の理解等、自立を促している。ドア前の表示や飾りで工夫している。		工夫の余地があれば、取り組んでいきたい。
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外周りには花壇を作っており、花壇の手入れ、季節の花を利用者に植えて頂いたり、水やりをして頂いたり、又畑では、畑の手入れ、野菜を植えて頂いたり、収穫して頂いたり活動して頂いている。		より活動できるように、取り組んでいきたい。

グループホーム ひなたの家

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	



## グループホーム ひなたの家

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)